

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



2024-25年度 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック 「ロータリーのマジック」
 2024-25年度 第2570地区ガバナー 五十幡和彦 「入って良かったロータリー」
 2024-25年度 志木ロータリークラブ会長 三上隆俊 「更なるクラブの魅力を協創しよう」

第2411回 移動例会

2024-11-6

- ◎司会 國分 学 副会長
- ◎点鐘 三上 隆俊 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 細田 いづみ 副SAA
- ◎四つのテスト 細田 いづみ 副SAA
- ◎ゲスト 大澤 悠子様(卓話者・オンライン)
 木下 哲男様(入会予定者)
 竹下 尚宏様(")
- ◎ビジター 長根 章浩様(富士見 RC)
 斎藤 茂様(")



今月の頭に東松山市で行われたスリーデーマーチの10kmコースに参加し、エンドポリオの啓発活動の一端を担って参りました。ご参加下さいました会員の皆様、改めまして、お疲れ様でした、そして、有難うございました。

この様に体感するロータリーの奉仕活動は実感を伴います。ですが、寄付行為で支え託す間接的な奉仕活動は実感が薄く、どうしても関心が薄くなりがちであります。

後程の卓話は、志木クラブがスポンサーとなり、現在もスキルアップを続けインターナショナルにご活躍されていらっしゃる、元財団奨学生の大澤悠子様のお話です。以前に支え託した奉仕活動の成果が実感でき、よりご理解を深める機会になるかと思えます。

是非、今後も皆様からの財団へのご寄付、カウンセラーを含んだスポンサークラブを務めるなどのご協力から、高い適応力を有する志木クラブの更なる魅力に繋がっていただければ幸いです。

結びに、9月に続きオンライン卓話を実施下さり、可能性を見出して下さいました宮原俊介プログラム委員長、いつも通信技術面でご尽力下さる内山同委員会副委員長に御礼を



ソングリーダー 細田いづみ 副SAA

「会長挨拶」

会長 三上隆俊

皆様こんにちは。多くの会員の皆様にご出席をいただきまして、誠に有難うございます。秋本番で昼夜の寒暖差が激しい日もございます、どうぞご自愛下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

ご多忙中の所、フランスからオンラインで卓話をいただける大澤悠子様、ご来訪下さいました入会予定者の木下様、竹下様、富士見RC長根様、斎藤様、どうぞ宜しくお願い致します。

申し上げ、会長挨拶と致します。

11/24(日)の地区大会を例会とし、11/27(水)の例会に振り替える

「理事会報告」(11/6分) 会長 三上隆俊

1) 新入会員審査の件

職業分類・会員選考委員会において会員候補者竹下尚宏様、木下哲男様を有資格者と決定し、推進を承認し、各会員に発表したところ異議がありませんでしたので、入会の手続きを進める。両氏の入会を承認

2) 「NPO 法人志木子育てネットワークひろがる輪」による2/11開催の「フードパントリー交換会」の案内所への協賛団体欄に記載の件

記載することを了承した。協力団体欄への記載のみで、助成金の拠出は無い

3) 次年度理事役員承認の件

金剛会長エレクトより、次年度の理事及び役員の提案があり、全会一致で承認された

4) 能登半島豪雨災害支援金の募金の件

国際ロータリー第2610地区「災害支援本部」本部長大橋聡司ガバナーより災害支援金募金のお願い及び当地区からも各クラブに募金活動のお願いの案内を受信。志木クラブにおいても支援金募金に協力することを承認した。募金金額は10万円とする

5) 志木ロータリークラブのぼり旗・関連品購入の件

会員増強・公共イメージ委員会遠藤委員長よりのぼり旗等経年劣化の為、新規購入の要望があり、了承した

6) 小諸・志木RC姉妹締結50周年記念合同例会決算の件

小諸交流委員会より小諸・志木RC姉妹締結50周年記念合同例会の収支決算書の報告があり、承認した

7) みつばすみれ学園運動会案内受信の件

みつばすみれ学園施設長寺嶋深雪様より運動会への招待があり、三上会長が出席し、クラブより祝い金10,000円を拠出することを承認した

8) 事務局員瀧澤悦子様ご実母様ご逝去の供花・香典の拠出の件

三役で協議し、会員と同様に対応するものとした。供花・香典を拠出した。事後報告

9) 移動例会振替の件

「幹事報告」

幹事 田中幸彦



1. 国際ロータリー日本事務局より2件受信

①11月の為替レート\$1=¥153

②ロータリー財団月間リソース案内

2. 地区事務所より3件受信

①能登半島豪雨災害支援金の募金依頼

②ロータリーの友に親しむ(アンケート)調査結果纏め

③地区会計規程等について

3. 第46回バギオ訪問交流の旅募集要項受信

4. みつばすみれ学園より運動会案内受信

日時: 11月16日(土) 10:00~13:00

場所: 志木市立宗岡第三小学校 体育館

内容: 学園に通う子ども達が普段の力を発揮しながら運動会を楽しむ

5. ハイライトよねやま Vol.295 2024年10月11日発行受信

6. バギオだより Vol.105 2024年11月号

「PHF 表彰伝達」

会長 三上隆俊



ポール・ハリス・フェロー 3回目 武藤典夫会員

// 1回目 遠藤貴博会員

「今月の誕生日祝」 親睦活動委員 戸國大介



8日 小泉市朗会員 12日 宮原克平会員

「誕生日スピーチ」 小泉市朗会員

皆様今日は会からご丁寧に“皆勤賞”の記念品を戴きありがとうございます。またこれからのこの“皆勤賞”ずっと続くように頑張りますので、どうぞ応援よろしくお願ひします。ありがとうございました。(談)

「委員会報告」

●ロータリー財団担当 担当 遠藤貴博



スリーデーマーチ参加報告

11月3日に東松山にて行われたスリーデーマーチポリオ撲滅運動へ、志木からは10名の参加をいただきました。誠にありがとうございました。

●親睦活動委員会 委員長 大村相基



今後の主な親睦活動行事について

12/18(水) 年忘れ例会

1/22(水) 新年会・新会員歓迎会

18:00 ベルセゾン

4/15(火) 富士見RC・志木RC 親睦ゴルフ

●社会奉仕委員会 委員長 西川和人
川と街をきれいにする運動御礼

過日行われました川と街をきれいにする運動親と子の市内まるごとクリーン作戦パート2 川辺の清掃に多くの皆様のご参加を頂きましたこと、本当にありがとうございました。

川と街をきれいにする運動推進協議会の上原会長からもご挨拶を戴きます。

ご挨拶

川と街をきれいにする運動推進協議会会長 上原 実



10月27日の川辺の清掃へのご参加、誠にありがとうございました。ロータリーメンバーの方には、コミュニティ協議会の管理する芝桜の除草作業に当たっていただき、お蔭様で栄橋の方から見ると本当にきれいになっております。ありがとうございました。

●地区・希望の風奨学金 委員 西川和人



希望の風奨学金からのご報告

今月も風の便りを皆様にお配りしています。引き続きご支援をよろしくお願ひいたします。

「私たちロータリアンは、東日本大震災のこ

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

■和光RC 毎週(月) 12:30~ うけら庵

■富士見RC 毎週(金) 12:30~ 島田ビル1F

第2グループ各RC 例会日・会場一覧(順不同)

事務局 048-455-0088

事務局 049-251-6596

2411-3◇

志木RC会報

とをけして忘れません」

『ロータリーの友』記事紹介

雑誌・R情報委員会 委員 山村昭康



『ロータリーの友』11月号記事紹介

【横組】

P7-13 ロータリー財団 始まりと今

ロータリー財団の父アーチ・クランプが財団「世界でよいことをする」ための基金をつくろうと提案したそうですが、最初はなかなか資金が集まらなかったそうです。

以下、アーチ・クランプが生きた時代やAKS（アーチ・クランプ・ソサエティ）への加入方法が記載されております。

以下本文ご参照下さい。

P20 私のロータリーのマジック

「ロータリーのマジック」は、ドミニカ共和国で汚水がきれいな水になった様子を見た少年から、“もう一度、魔法を見せて”と言われた経験から生まれました。

このような善行は、多くの事例があります。当クラブの宮原克平会員も5年位前にインドネシアへある団体と共にヒ素を除去する浄水器を設置したと聞いています。宮原会員に敬意を表します。

【縦組】

P4 SPEECH「今だから津田梅子 そして、サファイアの指輪と私」

津田塾大学学長、高橋裕子様講演要旨があります。

この内容は、新5000円札の顔にもなった津田梅子が日本で最初の女子官費留学生の一人となって、明治時代、最年少の6歳で1871年横浜から出港、ワシントンのジョージタウンでホストファミリーのお世話

になり、約10年間を過ごしました。

梅子は、この後も再度渡米したり、イギリスへ行ってヘレン・ケラーにも会っています。多くの女性達に高い教育を提供する使命感から女子英学塾を開設し、今日の津田塾大学に発展させました。

以下、長文になりますので、本文をご参照ください。

P21 ロータリーあるある相談室

相談、最近、妻に言われました。「アナタは、ロータリーの会合があると言って、ほぼ毎晩出かけるけど、いったいロータリーをやっていて何の意味があるの？家族だんらんを犠牲にするほどの価値があるの？この機会にロータリーをきちんと説明して下さい」と。

私の回答はしどろもどろ。

以下、この項は高橋健一郎会員にお任せします。高橋健一郎会員よろしくお願ひします。

「卓話者紹介」

宮原俊介会員



大澤 悠子(おおさわ・ゆうこ)様

ピアニスト・コレペティウア

2017-18年度 第2570地区ロータリー財団奨学生(地区補助金)

スポンサーRC:志木 RC(カウンセラー:宮原俊介)

1986年東京都出身、6歳から母、祖父母と共に埼玉県新座市で暮らす。

ピアニストの母に憧れて2歳からピアノを始め、同じ道を目指すも、高校の勉強の成績が妙に良かったため、進路指導の先生や親戚に説得されて東京大学文学部に入学、美学芸術学を専攻。その後武蔵野音楽大学大学院のピアノ科に進学し、同級生のソプラノ歌手の伴奏を引き受けてその魅力に目覚めると共に、伴奏法の授業で「コレペティウア」(オペラ歌手のコーチをするピアニスト)とい

う仕事があることを知り、その修行を始める。大学院修了後、ピアノ講師、伴奏業、高校社会科教師などを経て29歳で渡仏を決意。志木RCの支援で、財団奨学生としてパリ・エコール・ノルマル音楽院に留学、伴奏高等ディプロムを取得。現在もパリを拠点に、コンサート、声楽コンクールの伴奏、指導などの活動をしている。

「卓 話」～パリよりオンライン中継～

「オペラ座の日本人～世界への扉を開いてくれた財団奨学金」

ピアニスト、コレペティウア

元ロータリー財団奨学生(志木RC スポンサー)

大澤 悠子様



私の仕事はコレペティトウア（略してコレペティ）といって、オペラ歌手のピアノ伴奏をしながら、発音や解釈の面でコーチをすることです。したがって言葉を操る能力はコレペティの基本ではありますが、オペラの主要言語であるイタリア語、ドイツ語、フランス語は当然、日本人の私にとっては全て外国語であり、母音の数が日本語よりはるかに多いフランス語やドイツ語においては、正しく発音するどころか、異なる（けれども日本人にとっては似ている）母音を聞き分けるのさえ最初は難しいことでした。しかし財団奨学金のおかげでフランスでの生活をスタートさせることができ、オペラの言語を身近なものとして操ることができるようになりました。また、日本よりもコレペティの仕事の必要性が歌手の勉強の早い段階から認知されているフランスにいたことで、私も留学当初から、仕事の現場で実践的に学ぶことができました。



ロータリーの奨学金は年齢制限がなかったため、スロースターターであった私の挑戦を後押ししてくれました。また、単に専門分野の研究をするというだけでなく、国際親善大使としての心構えを叩き込まれてから出発するので、社会での自分の役割を常に意識しながら勉強することになります。

私なりのその一つの表れが、歌手二人と演出家と一緒に創作した《YOUKALI》という子供向けの音楽劇で、JMFという組織の主催するツアーでフランス各地の文化貧困地域を中心に回って、21公演、計5771人の子供に見てもらいました。

その他の私の進行中のプロジェクトとしては、フランス人の歌手に日本の声楽作品を歌ってもらってレパートリーとして定着させること、そして自分がフランスで身につけたことを日本、特に埼玉に還元するために、伴奏法やコレペティの技術を学びたいピアニスト、そしてフランスの作品を学びたい歌手のための講習会を開くこと、があります。



スマイル・神山威仁副SAA 出席・武藤典夫委員

●出席報告 出席向上委員 武藤典夫		
会員数49名	出席義務者46名	免除者3名
本日出席 47名	本日欠席 2名	本日出席率 95. 92%
前々回 MU (10名中1名)	前々回修正出席率 81. 63%	平均出席率 77. 74%